

「リスキリング」テーマに

人事部長クラブ9月例会

日本生産性本部は9月13日、第96期「人事リスキリング・イニシアチブ代表理事の後藤宗明氏が講演した。

ライオン併用)した。当日は「人的資本投資におけるリスキリング」ChatGPT時代の成長産業への失業なき労働移動の実現」をテ

間の雇用が失われる社会的課題)があり、な

成長産業へ労働移動を

していくための最大の

解決策としてリスキリ

ングが注目されたと説

明したうえで、日本で

はリスキリングについ

ての誤解があると指摘

した。「リスキリングと

は新しいスキルを(再)

習得させるということ

語は従業員だ。個人が

好きなことを学ぶ『学

び直し』とは異なり、

リスキリングは、DX

(デジタルトランスフ

ォーメーション)等の、

組織の新しい事業戦略

を担う職業能力の再開

発であり、少し踏み込

んでいえば、組織が実

施責任を持つ『業務』だ

といえる」と強調した。

外ではAT&Tとリー

バイス、日本では西川

コミュニケーションズ

(名古屋市)と石川樹脂

工業(加賀市)の事例を

紹介した。1906年

創業の老舗印刷会社の

西川コミュニケーション

ズは、2013年に

リスキリングを開始

し、業務時間の20%を

リスキリングに充て

グやAI(人工知能)導

入支援企業へと変貌し

たという。

リスキリングにおけ

る経営や人事の役割で

は、経営者が成長分野

を示すことや、スキル

を高めた従業員を生か

す受け皿を用意するこ

とが必要だと指摘し

た。「自社の成長分野が

示されていないのに、

て、AIの研修を実施

したものの、それを生

かす場所がないので従

業員が忘れてしまうと

いったことが現場では

起きている。経営者が

成長分野を示して、そ

れに対してリスキリン

グをすることが重要

だ」と述べた。

後藤氏は今後、ジョ

ブ型雇用からスキルベ

ヨブ(職務)ではなく

スキル(技術)のレベ

ルで人を雇用し育てて

いくスキルベース雇用

が米国やシンガポール

で始まっている。今後

は特に、『外部環境の

変化に対応して自ら学

習していく力』(学習

戦略スキル)が必要と

される。人間とAI、

ロボットが一緒に働く

時代の解決策がリスキ

リングだ」と強調した。